

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 9 日

埼玉県知事 殿



提出者

住 所 埼玉県川越市富士見町22番1

氏 名 世紀東急工業株式会社 埼玉西営業所  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

所 長 北野 和幸

電話番号 049-227-7681

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	世紀東急工業株式会社 埼玉西営業所
事業場の所在地	川越市富士見町22番1 (埼玉県内工事)
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業 (舗装、土木工事業)
② 事業の規模	2,657百万円(令和4年度完成工事高)
③ 従業員数	24人(令和5年4月1日現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙②			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリートがら
	排出量	1,171.1 t	713 t
	(これまでに実施した取組) 建設業は請負業のため、殆どの工事は発注者の設計書に基づき施工している。故に計画の段階までは、発注者の仕様となっている。しかしながら施工計画の作成にあたり、発注者と協議を行い、排出抑制の提案等を行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリートがら
	排出量	500 t	300 t
	(今後実施する予定の取組) 施工計画作成段階において、発生を抑制する施工方法や再生品として利用可能な施工方法を検討し、発注者への提案を行っている。施工に先立ち検討会を実施し、担当者の取組を事業所全体の課題として認識を持つこととしている。 ※目標は6月現在埼玉県内手持ち工事計画排出量		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 当社現場は舗装工事が多く、発生する廃棄物の種類は限られるが、再利用の観点から積込時に分別排出を行っている。少量の排出物は種類毎にボックスを用意している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 排出物の種類毎にボックスの数を多くし、細分化を図る。		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	混合
	排出量	8.6 t	63.5 t
	(これまでに実施した取組) 建設業は請負業のため、殆どの工事は発注者の設計書に基づき施工している。故に計画の段階までは、発注者の仕様となっている。しかしながら施工計画の作成にあたり、発注者と協議を行い、排出抑制の提案等を行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	混合
	排出量	4 t	30 t
	(今後実施する予定の取組) 施工計画作成段階において、発生を抑制する施工方法や再生品として利用可能な施工方法を検討し、発注者への提案を行っている。施工に先立ち検討会を実施し、担当者の取組を事業所全体の課題として認識を持つこととしている。 ※目標は6月現在埼玉県内手持ち工事計画排出量		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	② (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

② 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	他がれき	木くず
	排出量	153.2 t	7.28 t
	(これまでに実施した取組) 建設業は請負業のため、殆どの工事は発注者の設計書に基づき施工している。故に計画の段階までは、発注者の仕様となっている。しかしながら施工計画の作成にあたり、発注者と協議を行い、排出抑制の提案等を行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	他がれき	木くず
	排出量	50 t	3 t
	(今後実施する予定の取組) 施工計画作成段階において、発生を抑制する施工方法や再生品として利用可能な施工方法を検討し、発注者への提案を行っている。施工に先立ち検討会を実施し、担当者の取組を事業所全体の課題として認識を持つこととしている。 ※目標は6月現在埼玉県内手持ち工事計画排出量		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

③ 現状	④ (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
③ 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	水銀使用製品
	排出量	13 t	0.1 t
	(これまでに実施した取組) 建設業は請負業のため、殆どの工事は発注者の設計書に基づき施工している。故に計画の段階までは、発注者の仕様となっている。しかしながら施工計画の作成にあたり、発注者と協議を行い、排出抑制の提案等を行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック 金属	水銀使用製品
	排出量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 施工計画作成段階において、発生を抑制する施工方法や再生品として利用可能な施工方法を検討し、発注者への提案を行っている。施工に先立ち検討会を実施し、担当者の取組を事業所全体の課題として認識を持つこととしている。 ※目標は6月現在埼玉県内手持ち工事計画排出量		
産業廃棄物の分別に関する事項			
⑤ 現状	⑥ (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリートがら
	全処理委託量	1,171.1 t	713 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,171.1 t	713 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	当社現場排出物は、殆どがアスコンがら・コンクリートがらであり、当社あるいは他社の中間処理場へ搬入し、中間処分を行っている。後、再生品となり、更にはアスファルトプラントにより加熱アスファルト混合物としている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリートがら
	全処理委託量	500 t	300 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	500 t	300 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>当社現場排出物のうち、アスコンがら・コンクリートがらは、100%再生品として再利用する。</p> <p>※目標は6月現在埼玉県内手持ち工事計画排出量</p>		
※事務処理欄			



## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
② 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	混合
	全処理委託量	8.6 t	63.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	8.6 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 中間処理場へ搬入し、適切に中間処分を行っている。 汚泥については脱水のうえ改良土として再生利用している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	混合
	全処理委託量	4 t	30 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	4 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>汚泥については脱水のうえ改良土として再生利用する。また、法令に則り許可業者へ確実に処理委託を行う。</p> <p>※目標は6月現在埼玉県内手持ち工事計画排出量</p>		
※事務処理欄			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
③ 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	他がれき	木くず
	全処理委託量	153.2 t	7.28 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	153.2 t	7.28 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 当社あるいは他社の中間処理場へ搬入し、中間処分を行っている。 後、再生品となる。 中間破碎後、最終チップとして再生利用としている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	他がれき	木くず
	全処理委託量	50 t	3 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	50 t	3 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>発生品のがれきは路盤材であり、100%再生品とする。  中間破碎後、最終チップとして再生利用としている。  ※目標は6月現在埼玉県内手持ち工事計画排出量</p>		
※事務処理欄			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
④ 現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	水銀使用製品
	全処理委託量	13 t	0.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 法令に則り、許可業者へ確実に処理委託を行う。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	水銀使用製品
	全処理委託量	0 t	0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>法令に則り許可業者へ確実に処理委託を行う。</p> <p>※目標は6月現在埼玉県内手持ち工事計画排出量</p>		
※事務処理欄			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

⑤ 現状	【前年度（平成30年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	木くず
	全処理委託量	6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	6 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(これまでに実施した取組) 中間破碎後、最終チップとして再生利用としている。	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	全処理委託量	0 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 中間破碎後、最終チップとして再生利用とする。 ※目標は6月現在埼玉県内手持ち工事計画排出量		
※事務処理欄			

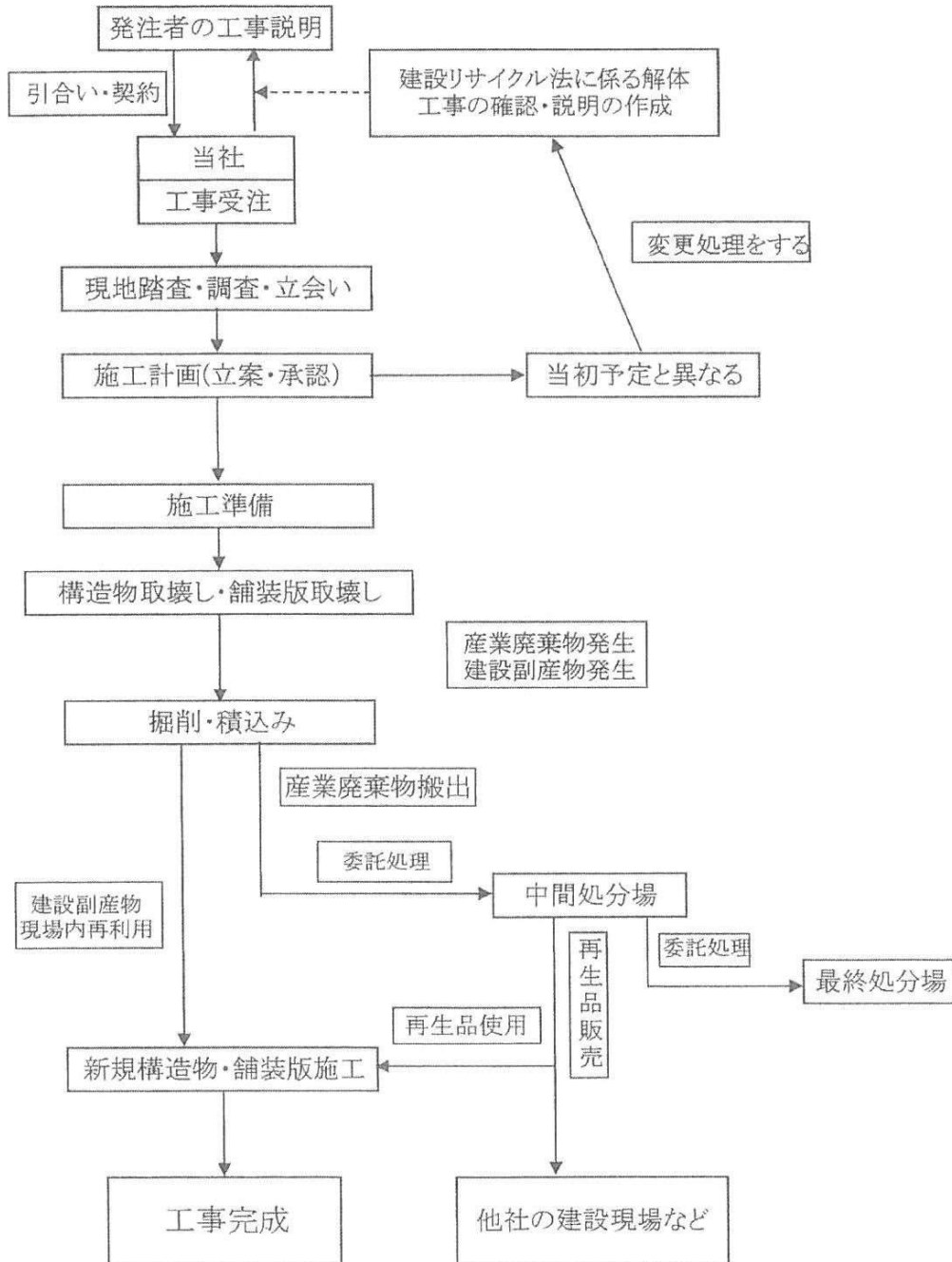


備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

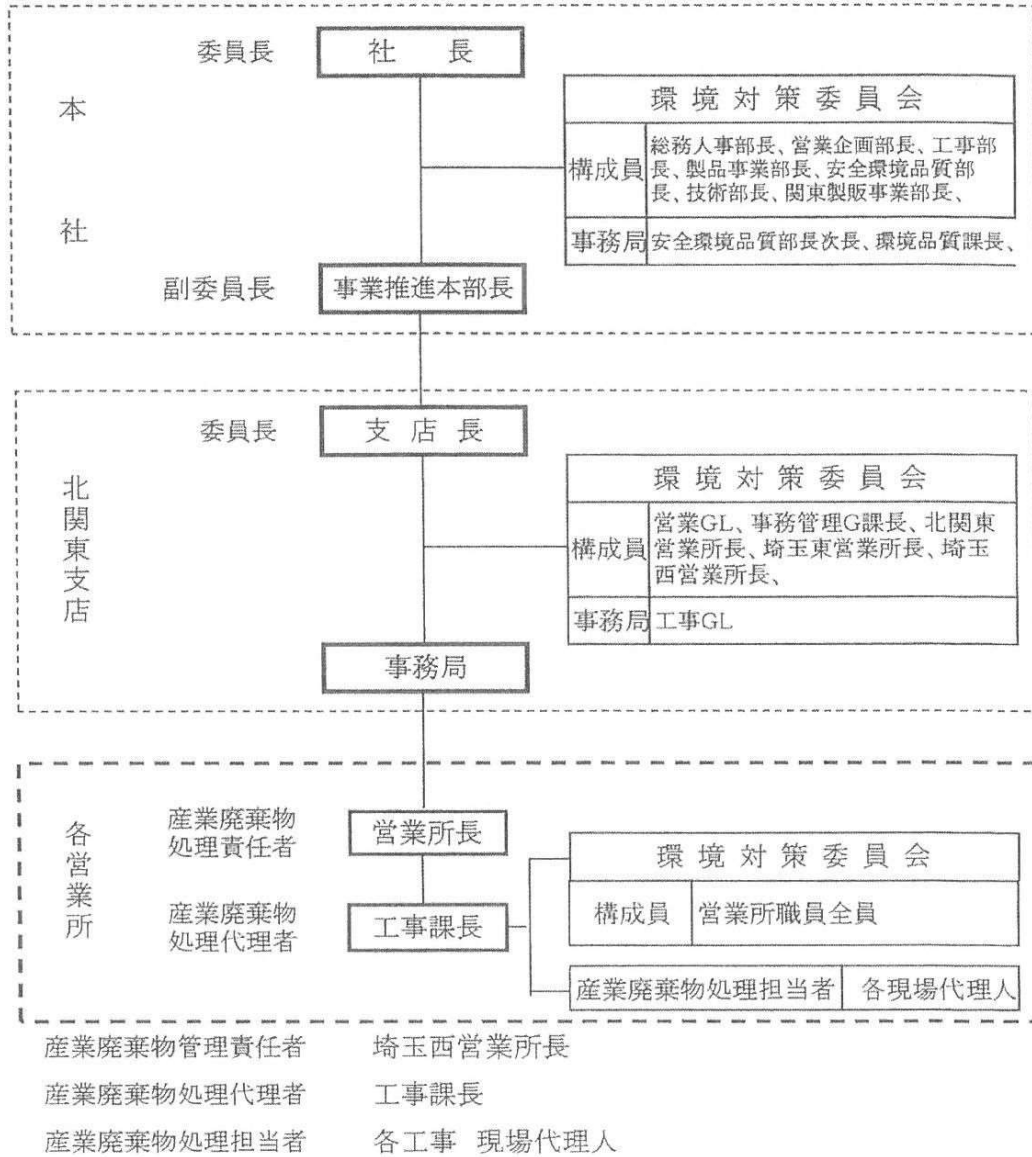
別紙①

排出・処理等のフローシート



別紙②

管理体制図



役割

<p>本社</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 基本方針の立案</li> <li>② 情報、資料の収集及び調査</li> <li>③ 関連部署に対する資料提供、助言及び指導</li> <li>④ 教育、啓蒙、マニュアルの作成</li> <li>⑤ 法令の改正、行政官庁の指導内容等の周知</li> </ul>
<p>支店</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 産業廃棄物処理等の基本計画の作成、処理の実績記録の保存</li> <li>② 協力業者の選定及び指導管理、基本委託契約の締結</li> <li>③ 法令の改正、行政官庁の指導内容等の周知</li> <li>④ 営業所への資料提供、助言及び指導</li> <li>⑤ 廃棄物及び建設副産物の減量化、再資源化の推進</li> <li>⑥ 工事会議、施工検討会などにおける検討、指導</li> </ul>
<p>営業所</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 実施計画の作成</li> <li>② 発生量、排出量の把握、記録と実績報告書の作成及び報告</li> <li>③ 協力業者の指導管理、委託契約の締結</li> <li>④ 処理施設の確認及び委託処理量の把握</li> <li>⑤ 支店への廃棄物処理と建設副産物利用状況の定期的な報告</li> <li>⑥ 廃棄物及び建設副産物の減量化、再資源化の推進</li> </ul>